

はじめに

～「希望の山城づくり」の実現に向けて～

京都府山城広域振興局長 田中 準一

京都府では、平成23年1月、府政運営の指針である「明日の京都」を策定し、だれもがしあわせを実感できる希望の京都づくりに取り組んでまいりました。

そのうち、平成27年3月で計画期間が終了する「中期計画」及び山城、南丹、中丹、丹後の4つの「地域振興計画」について、計画策定以後の状況の変化に対応するため、ワンランク上の「安心」をめざすとともに、交流による成長など、京都の持てる力を最大限に発揮できることをめざすという二点を基本的な視点として、改定を行ったところです。

山城地域におきましても、平成23年1月に「山城地域振興計画」を策定し、各地域の特性に応じた様々な施策を展開し、がん検診の受診率の向上、「宇治茶の郷づくり」を通じた宇治茶ファンの拡大、「京やましろ新鮮野菜」の取組や観光振興と合わせ、京都第二外環状道路（にそと）開通に向けた基盤整備などを進めてきたところであります。

一方で、平成24年8月の京都府南部豪雨や平成25年9月の台風18号などによる自然災害の脅威が増しており、重点的な防災・減災対策が必要であるほか、少子化問題の深刻化等で非常に厳しい状況が続いていることなど、新たな対応が必要な課題も生じてまいりました。

こうした中で、新たな「山城地域振興計画」では、まず、府民の方々の暮らしの基礎である安心・安全の確保に全力で取り組むとともに、地域の活性化と交流を進める社会基盤整備を進め、「お茶の京都」等による農林業や中小企業など地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進、少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり、地域文化の承継・発展と環境保全や子どもの育成という5つの柱で具体的施策を進めることとしております。

また、山城地域は多様な地域特性と持つ個性豊かな15市町村で構成されていることから、乙訓、山城中部、相楽の3つの地域のそれぞれの特性をいかした施策を進めることとしております。

今後は本計画に基づき、山城地域の皆様が、地域への誇りと愛着を持って日々の生活を送り、ここを訪れる方々にその魅力を余すことなく伝え、次代を担う子どもたちに自信を持って託すことのできる「希望の山城づくり」をめざし、各市町村や関係団体、多くの地域の方々とともに施策に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、パブリックコメント等におきまして、貴重な御意見をお寄せいただいた皆様をはじめ、多大な御尽力を賜りました各関係機関の皆様へ、心から感謝と御礼を申し上げます。

平成27年3月